

ファンドマネージャーの眼

ファンドマネージャー独自の視点で市況を分析



『中国の新型レンタルサイクル』

2017年5月12日

グローバル・エクイティ運用部

昔の中国のイメージといえば、皆が人民服を着て自転車で街を通り過ぎるというのが一般的でした。近年の中国では、目覚ましい経済成長に伴い人民服を着る人の姿はほとんど見かけなくなり、大都市では自転車の群れは自動車に代わりました。

自転車は中国の大都市において人の移動手段として第一線から完全に退きましたが、最近では「復権」するような動きが見られます。複数の企業が中国のレンタルサイクル市場に対して大規模の投資を行い、北京や上海などの都市部においてレンタルサイクル事業を展開しています。

この新型レンタルサイクルの最大の特徴は、レンタルのための店舗を置かずに全ての作業がスマートフォンで完結するということです。レンタルサイクルを利用したい人は専用のアプリを使って近くに利用できる自転車を検索し、予約することができます。予約した自転車を見つけると車体にあるQRコードをスマートフォンでスキャンして開錠します。目的地に着くとQRコードを再びスキャンし自転車を施錠し、レンタルサイクルの利用を終了します。課金される利用時間は、QRコードを2回スキャンする間になります。



レンタルサイクルの車体にあるQRコード
(筆者撮影)

私は今年、上海へ出張した際にレンタルサイクルを使ってみました。上海の都心部では歩いて数分程度で必ず自転車を見つけることができます。2~3キロの短距離なら地下鉄よりレンタルサイクルで移動するほうが駅構内などの移動時間を節約できるため便利です。料金は30分ごとに0.5元（約8円）と大変お手頃です。返却は歩道に白で表示されている自転車駐輪エリアであればどこでも問題なく、乗り捨てに近い形態になります。ただし、レンタルサイクルの提供者は利用者のマナーを向上させるため、自転車駐輪エリア以外の場所に返却すると減点対象とし、点数が一定の基準に達した場合は利用料金を大幅に割増しています。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、あくまで情報提供を目的としたものであり、一部主観及び意見が含まれています。最終的な投資判断は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、ファンドマネージャー等の実際の運用等に何ら制限を加えるものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

こうした新型レンタルサイクルの展開は、スマートフォンがどれぐらい中国の人々の生活と密着しているかの一例にすぎません。中国では近年、スマートフォンを通じてお年玉をもらったりするなど、Alipay や Wechat pay などのスマートフォンによる決済サービスの普及が進んでおり、それに伴う新しい展開や投資の機会がこれからも起きるだろうと信じています。今後も、中国だけでなく世界各国において、このような経済の構造に起きている変化に常に注目し、調査・分析を進めていきたいと考えます。

以上

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、あくまで情報提供を目的としたものであり、一部主観及び意見が含まれています。最終的な投資判断は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、ファンドマネージャー等の実際の運用等に何ら制限を加えるものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。